

小国高校 ジャーナル

2009.9

www.ygt-oguni-h.ed.jp

小国町小中高一貫教育 メディア教育担当者研修会

8月3日(月) 本校パソコン室を会場に小中高の情報教育を担当される先生方を対象にメディア教育担当者研修会(小国町小中高一貫教育国際・情報部会(情報推進部)主管)が開催されました。



新学習指導要領にあった小中高教育の「情報教育の体系化」を進めるために、小国高等学校の情報教育について研修を深める事を目的とし、「小国高等学校の情報教育」～情報教育の実情と今後の課題～と題し、本校情報教育担当 岸 健司先生より講義が行われました。その後「指導目標別副読本対応表」の改定作業についての協議が行われました。

地域文化学 各班の進捗状況3

2班 小国の伝承歌班

山形大学地域教育文化学部
文化創造学科 鈴木 涉 先生

小国町に伝承されている唄を記憶している町民の方々にご協力いただき、メロディーすなわち歌を探取し、楽譜として起こし、資料として編纂し保存を試みています。そしてこの活動をとおし、私たち自身が小国町に残された伝承歌を探取・記録するなかで、これらを知り、より理解を深め、さらに歌えるようにしたいと考えています。

これまでに、町内東原の加藤とよさんや、尻無沢の仁科清実さんにご協力いただきました。今後も町民の方々のご協力を得ながら伝承歌の保存をすすめていきます。



The musical score consists of three staves of music with Japanese lyrics underneath. The first staff starts with a treble clef, a common time signature, and a key signature of one sharp. The lyrics are: いもんめの いもだけさん いもやの おばさん いもようだい. The second staff continues with the same key signature. The lyrics are: にもんめの にいだけさん にんじんやの おばさん にんじんちまう だい. The third staff concludes the piece. The lyrics are: きんじんめの きんだけさん きんじんやの おばさん きんじんちまう だい.

現地で録音した歌を鈴木先生に起こしていただいた楽譜

3班 民俗文化班

**東北芸術工科大学
東北文化研究センター 菊地和博 先生**



3班は「歩く・見る・聞く」をコンセプトに、伝承される昔語りを調べています。5月には小国町で語りべをされている後藤弘子氏より実際に語りをお聞きし、また6月には市野沢にお住まいの島貫一雄氏、玉川にお住まいの渡辺競氏からは地区に伝わる昔話等をお聞きし、その中の峠に伝わる大蛇の伝説を調査し学習を進めました。7月には越後13峠の1つに数えられている大里(おおり)峠を渡辺さんの案内で実際に歩き、伝説に出てくる山頂の神社を見学してきました。